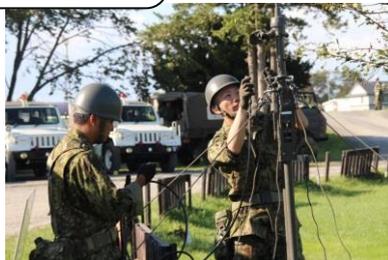


北海道胆振東部地震災害派遣

連 隊 本 部



本 部 管 理 中 隊



第 5 普 通 科 中 隊



9月6日(木)0308、北海道胆振中東部を震源とする道内初となる震度7の地震が発生し、連隊は直ちに災害派遣の準備を整えた。

地震発生14分後には千歳市役所に連絡幹部を派遣し、連絡態勢を確立した。また発生30分後に各中隊はそれぞれの担当区域の被害状況を情報収集するため駐屯地を出発した。

第 1 普 通 科 中 隊



第 6 普 通 科 中 隊



じ後、大規模な崖崩れにより甚大な被害が発生していた厚真町への派遣を整齐と準備し、地震発生6時間後に連隊長以下連隊主力が安否不明者の捜索に前進した。

捜索現場においては、警察・消防と共に昼夜を問わず懸命な捜索を実施して安否不明者全員を御家族のもとへお返しすることができた。

第 2 普 通 科 中 隊



重 迫 撃 砲 中 隊



連隊は他にも、千歳市における給食支援、厚真町・むかわ町など各所における給水支援及び土砂崩れで水路が塞がれた厚真ダムの倒木撤去作業などを実施し、被災地への支援に全力を注いだ。

第 3 普 通 科 中 隊



第 7 後 方 支 援 連 隊
普 通 科 直 接 支 援 中 隊



連 隊 炊 事



第 4 普 通 科 中 隊



地震直前の9月5日(水)未明、台風21号の強風により街路樹がなぎ倒されるなどの被害も出た。(写真は東千歳駐屯地内)



おじろわし



【発行所】
普通科友の会

【協力】
第11普通科連隊
第1科広報班

【印刷所】
(株)フロンティア印刷

(第1面)
「北海道胆振東部地震災害派遣」

(第2面)
「西日本豪雨災害派遣」

(第3面)
「第3中隊・通信小隊
訓練検閲」
「第11中隊訓練検閲」
「重迫中隊訓練検閲」

(第4面)
「豪州主催国際射撃競技会
練成訓練」
「第16回全国都道府県対抗
日本拳法大会」
「銃剣道訓練隊各種大会
出場」

(第5面)
「千歳市新規採用職員
北海道ガス株式会社
隊内生活体験」
「予備自衛官招集訓練」
「郷土の伝統芸能研修
奴道中」

(第6面)
「千歳機甲太鼓演奏支援」
「定年退官者紹介」

(第7面)
「人事だより」
「定期異動・定期表彰」
「連隊ホームページ紹介」

(第8面)
「NET99だより」
「普友会コーナー」
「担当者の独り言」

連隊行事予定

- 【10月】
 - ・重迫中隊訓練検閲
 - ・戦闘射撃競技会
 - ・2中隊・施設小隊・偵察小隊訓練検閲
- 【11月】
 - ・秋季演習場定期整備
- 【12月】
 - ・総合戦闘射撃
 - ・年忘れ行事

西日本豪雨災害派遣

確立された即応態勢により迅速な派遣準備を行う隊員ら



台風7号が北九州に接近した7月3日(火)以降、記録的豪雨が西日本を襲った。平成最悪の水害へと発展した豪雨により壊滅的なダメージを受けた被災地への支援を行うため、7月9日(月)第11普通科連隊第6普通科中隊は、中隊長 高正秀基3等陸佐以下48名、車両13両をもって被災地へ駆けつけ、約半月の給水支援を行った。

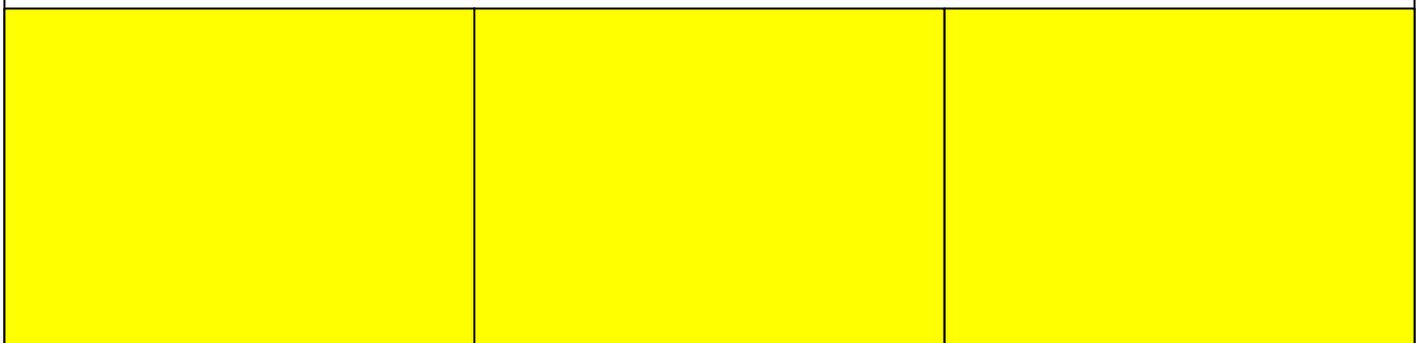
7月8日 連隊の見送り行事の後、師団長から壮行のお言葉を頂き、師団の隊員に見送られ駐屯地を出発



連日の猛暑の中、被災された住民の方々の生活を支える為、給水支援活動を続ける隊員ら



7月25日、約半月の給水支援を終え、無事帰隊した6中隊隊員を連隊全員で出迎える



通信小隊訓練検閲



七月十七日(火)から十九日(木)の間、本部管理中隊通信小隊(小隊長 渡辺三尉)は小隊訓練検閲を受閲した。戦闘団の作戦に資する通信組織の構成・維持・運営

要領を課目として受閲した通信小隊は、第一線中隊への敵情の伝達、指揮官の指揮の中継、指揮所移転に伴う速やかな各個動作等、迅速かつ確実な通信の確保に努め、円滑な部隊行動の礎を築くなど、その任務を完遂した。



第3中隊訓練検閲



七月十七日(火)から十九日(木)の間、第三普通科中隊(中隊長 三田一尉)は中隊訓練検閲を受閲した。独立的に行動する増強装甲戦闘車化

中隊の行動を主たる任務とした第三普通科中隊は、猛暑の中、終始積極果敢な乗下車戦闘を展開し、一時的に苦戦を強いられるも、最終的には敵を撃破して戦闘団の作戦行動を容易にするなど、中隊の任務を完遂した。



第1中隊訓練検閲



八月二十四日(金)から二十六日(日)の間、第一普通科中隊(中隊長 小林一尉)は中隊訓練検閲を受閲した。

独立的に行動する装甲戦闘車化中隊の行動を主たる任務とした第一中隊は、断続的に降り続く雨の中、勇

猛果敢な戦闘行動により市街地戦闘訓練場に占拠する対抗部隊を殲滅、戦闘団のじ後の作戦に大きく貢献するなど、任務を完遂した。



重迫中隊訓練検閲



前日から接近していた台風の影響で射撃の実施が危ぶまれていたものの、影響は少なく、ほぼ計画通りに訓練検閲は進行され、各小隊の各隊員に至るまで、陣地進入から陣地変換まで整齊と行動し、それぞれの任務を完遂した。



十月一日(月)重迫撃砲中隊(中隊長 山崎一尉)は中隊訓練検閲を受閲した。

検閲は実射による砲弾射撃を実施し、各級指揮官の指揮及び隊員の基

豪州主催国際射撃競技会練成訓練 (A A S A M 1 9)



連隊は、第4普通科中隊(中隊長 加藤1尉)を担当中隊として、7月上旬から9月下旬にかけ豪州主催国際射撃競技会(AASAM19)出場に向け練成訓練を実施した。

昨年度、今年度と連隊から2年連続で日本代表選手が選出され、世界第一位の成績を叩き出した隊員も出現した同競技会選手への選出を目指し「次は自分が世界一に!」と、参加隊員は練成訓練に熱を込める。

金メダリストを指導部に加え、今年も日本代表者を輩出するべく、各選考会突破へと照準を合わせる。



銃剣道訓練隊 各種大会出場

7月下旬から8月上旬にかけ11連隊銃剣道訓練隊は各種大会に出場し、優勝を含む上位成績を収めた。

7月22日(日)愛知県豊川市で開催された第23回わかしゃち国体記念事業青少年銃剣道大会の第2部で11連Aチームが優勝の栄冠に輝き、翌週の8月2日(木)日本武道館で開催された第49回全日本青年銃剣道大会では、第2部に参加した190個チーム中、Aチームが第5位に入賞するなど、大きな成果を上げた。8月6日(月)帰隊した銃剣道訓練隊の出迎え行事が行われ、出迎えた隊員全員の惜しめない拍手が彼らを包み込み、その功績を讃えた。



行事が行われ、出迎えた隊員全員の惜しめない拍手が彼らを包み込み、その功績を讃えた。

第16回全国都道府県 対抗日本拳法大会

7月29日(日)11連隊拳法訓練隊は、愛知県名古屋市で開催された第16回全国都道府県対抗日本拳法大会に出場し、成年男子の部で第3位の好成績を残した。

北海道代表として大会に臨んだ選手らは、予選を激戦の末に通過し、その勢いそのまま駒を進めた準決勝では、大将戦まで纏れ込んだ接戦に惜敗し決勝進出を逃すも、3位決定戦で勝利を収め第3位という好成績で大会を終えた。しかし、彼らが目指す順位は、あと2つ残されている。

来年見据える目標が出来た。一全国制覇一頂点は手の届く位置にある。

6回 全国都道府県対抗口本拳



千歳市新規採用職員 北海道ガス株式会社 隊内生活体験

七月四日(水)から六日(金)までの間、第六普通科中隊(中隊長 高正三佐)は、千歳市新規採用職員三十八名に対し、また、七月二十五日(水)から二十七日(金)までの間には第四普通科中隊(中隊長 加藤一尉)が、北海道ガス株式会社社員十六名に対し、隊内生活体験を支援した。

生活体験は、基本教練・救急法・格闘訓練など自衛隊ならではの各種訓練を体験し、両団体ともに二日目に行われた二十キロ行進では、互いに励まし合いながら歩き続ける事で連帯感や団結心を養うなど、社会生活へと繋がる貴重な経験を体験した。

この生活体験を通し、職員間、社員間の結束が深まり、苦難を乗り越える力を身に付ける事を願う。

7/4~7/6
千歳市新規採用職員



7/25~7/27
北海道ガス株式会社



郷土の伝統芸能研修 奴道中

9月1日(土)から3日(月)の間、千歳神社秋季例大祭が行われ、最終日の3日には11連隊有志が集い、千歳市の伝統芸能【奴道中】を研修した。

伝統衣装を身に纏い、神輿渡を行う順路において市内各所で道中振りを披露すると、沿道の

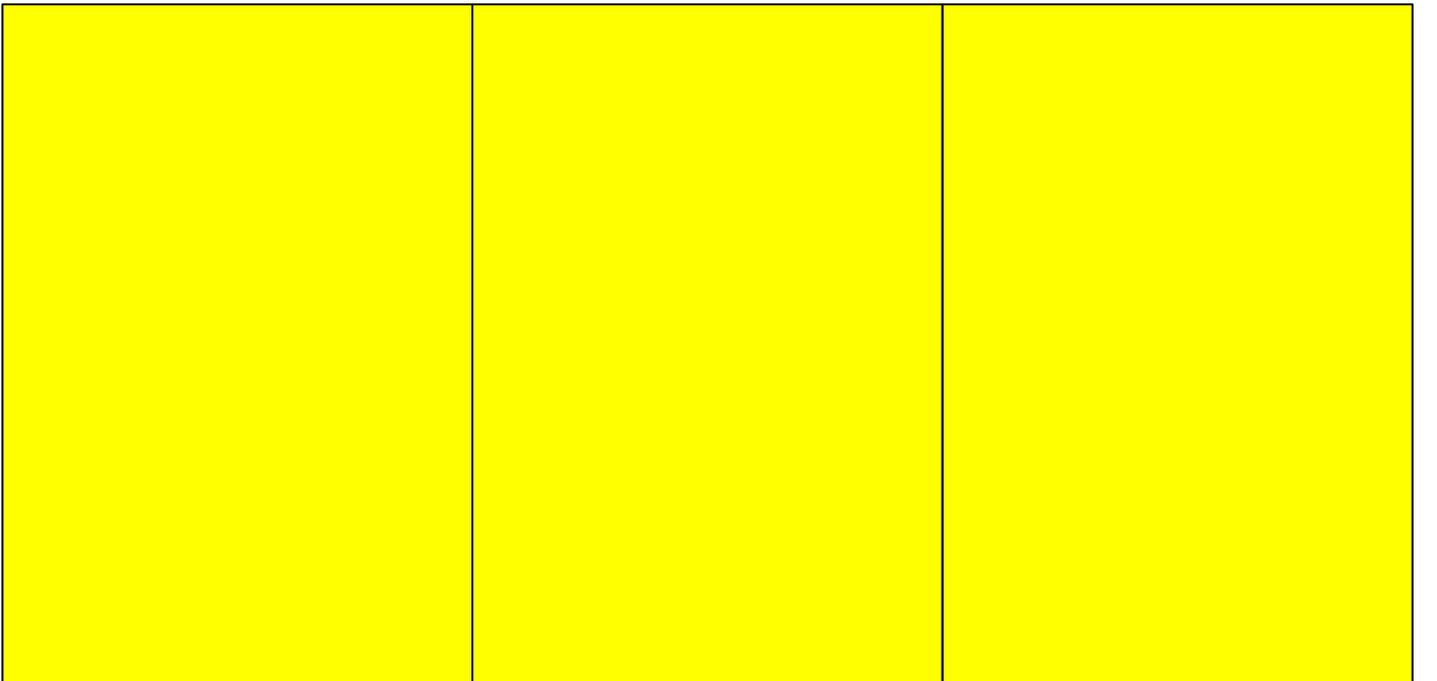
観客からは温かい拍手が沸き上がり、古来から伝わる伝統芸能に見入っていた。



予備自衛官招集訓練

7月19日(木)から23日(月)までの間、第2普通科中隊(中隊長 川瀬3佐((当時))が担任中隊となり、予備自衛官招集訓練が実施された。

予備自衛官として必要な練度を維持・向上させる為、5日間の日程で通信訓練・警備訓練・体力測定などの各種訓練が行われ、第2普通科中隊隊員らの懇切丁寧な訓練指導により、招集訓練参加者の練度向上が図られた。



7月14日
市民夏まつりオープニング



7月16日
スカイ・ピア&YOSAKOI祭



8月6日
ノーザンスピリッツ



千歳機甲太鼓演奏支援

8月7日
駐屯地盆踊り



8月25日
千歳市九館合同児童館まつり



8月26日
キリン北海道ビアフェスティバル



永年の勤務
お疲れ様でした
新天地でのご活躍を
期待しています

定年退官者 紹介



准尉 佐藤 昭弘
(平成30年7月8日付)



3尉 小松 均
(平成30年7月18日付)



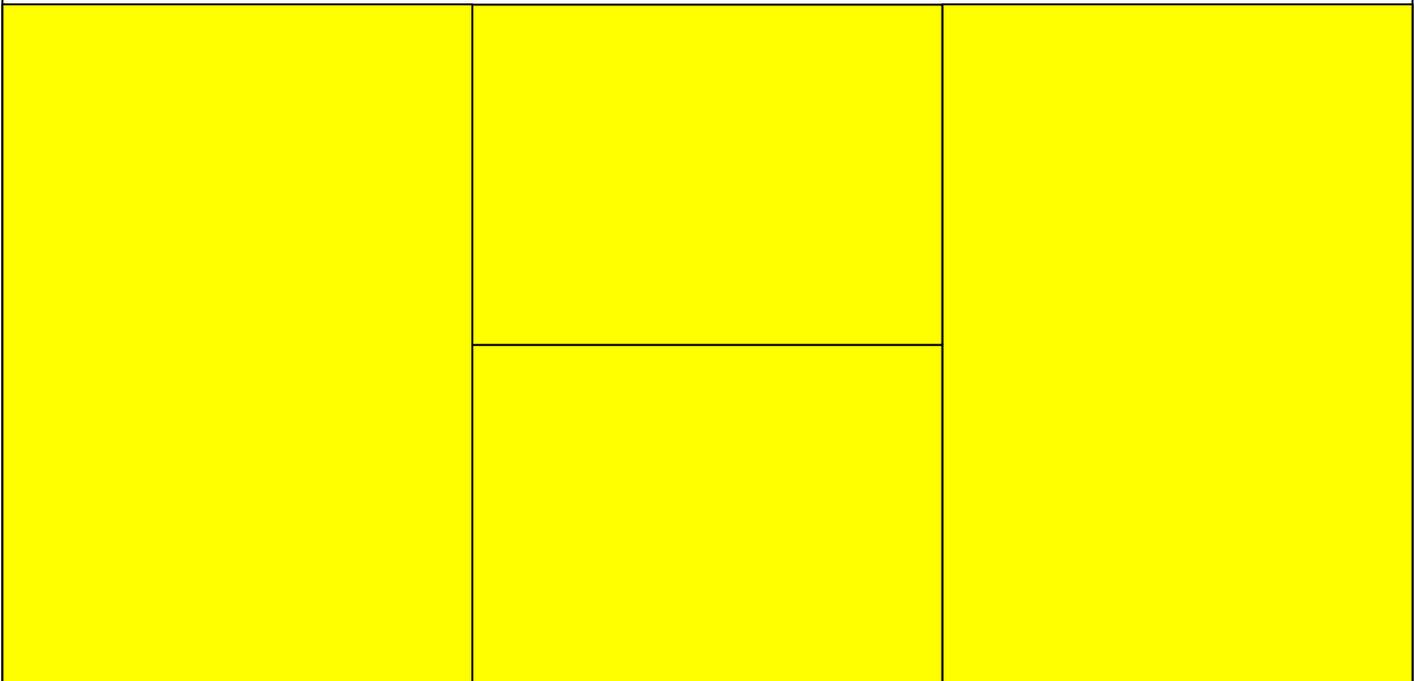
曹長 村元 孝志
(平成30年8月7日付)



曹長 佐藤 赴美哉
(平成30年9月2日付)



1曹 松田 二三夫
(平成30年9月17日付)



人事だより

【転出】

▼幹部 (2普中) 3佐 川瀬 省一

(5普中) 3佐 安達 朋幸

富士学校(富士)へ

▼准曹士 (本管中) 2曹 大谷 新

(1普中) 2曹 駒野 良太

(2普中) 3曹 宮原 佑太

(同) 3曹 盛下 卓哉

(同) 1士 近江 秀仁

(3普中) 2曹 田村 宜貴

(同) 3曹 関口 優理

(同) 1士 日當 一毅

(5普中) 2曹 小松 達也

(6普中) 1曹 中島 尚樹

(同) 2曹 高田 耕司

(重迫中) 曹長 竹内 敦

(同) 2曹 山内 泰輔

(同) 3曹 西澤 裕太

39普連(弘前)へ

【転入】

▼幹部 (2普中) 3佐 米澤 剛

陸幕人教部(市ヶ谷)から

▼准曹 (本管中) 准尉 安斉 和之

(1普中) 2曹 井田 勝己

(同) 3曹 野口 勇二

(同) 3曹 加藤 隼也

(同) 3曹 原田 和幸

(2普中) 2曹 佐藤 伸也

(同) 3曹 菅原 健太

(同) 3曹 鈴木 奨

(同) 3曹 野崎 真

(3普中) 1曹 柳瀬 純

(同) 3曹 三河 直樹

(5普中) 3曹 平野 偉之

(同) 3曹 波 裕一

(同) 3曹 館岡 晴輝

(6普中) 1曹 小林 博之

幌別駐業(幌別)から

定期異動
平成30年8月1日付



【連隊内補職替】

(連本) 1尉 小笠原雄一郎

(同) 1尉 山崎 勝

(5普中) 1尉 戸澤 剛

(重迫中) 1尉 金丸 賢一

(連本) 1尉 寺崎 光浩

(5普中) 1尉 柴里 拓也

小隊長→運用訓練幹部へ

定期表彰
平成30年7月31日付



▼第4級賞詞

【職務遂行】

2普中 3佐 川瀬 省一

重迫中 1尉 金丸 賢一

6普中 2尉 谷 健司

3普中 2尉 石川 裕太

本管中 曹長 柴田 賢一

同 2曹 工藤 亨介

同 2曹 牧田 英司

同 2曹 篠原 誠

2普中 2曹 江部 良彦

同 2曹 堀本 聖

3普中 曹長 六鎗 俊昭

4普中 1曹 川村 岳志

5普中 2曹 小島 慶太

同 2曹 武茂伸太郎

重迫中 2曹 山内 泰輔

▼第5級賞詞

【職務遂行】

連本 1尉 山崎 勝

同 2尉 上野 博康

本管中 1曹 松藤 和彦

同 2曹 田中 直人

同 3曹 松田 尚仁

同 3曹 廣瀬香菜子

1普中 1士 菅間 優大

同 1士 遠藤 悠樹

2普中 2曹 松田 康平

4普中 2曹 川邊 誠

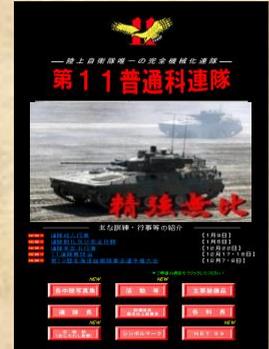
同 1士 寺岡 大輔

5普中 3曹 小寺 儀寿

同 3曹 高橋 勇人

6普中 3曹 高橋 将平

重迫中 曹長 岩男 飛鳥



連隊ホームページ

パソコン・スマホで11連隊の事が分かる！
右の画面が目印！
第11普通科連隊ホームページへアクセス！
※逐次更新中！！



11連隊マスコットキャラクターおじろくん

NET99便り

莫妄想 (まくもうそう)

北海道胆振東部地震の被害に遭われた方・地区の皆様、心からお見舞い申し上げます。また、災害派遣に向かれた隊員の皆様、その留守を預けられた隊員・ご家族の皆様、大変お疲れ様でした。

莫妄想 (まくもうそう)

皆さんは、何か大きな失敗などを起こしたとき、心配や不安の種を探していたようなことなどの覚えはありませんか？

例えば、「あの時、こうしなければこんなことにはならなかったのに・・・」と言うような、すでに過ぎてしまったことをよくよく考えてしまったり「皆に迷惑を掛けてしまって、毎日合わず顔がない・・・」など、これから先がまだ見えないことを思い悩んだりしたことなど・・・

これらの悩みは、禅の言葉で「莫妄想」と言い「自分で心配の種を探し、迷路に迷い込んでしまう」ことで、「心の辛さから逃れたい」という思いからくる「妄想」による仕業です。

現実起きていないことをあれこれと頭の中に組み立てて、そのありもしないことに自らとらわれてしまう。放っておくと、どんどん妄想が膨らんでいき、ストレスから心身ともに蝕んでしまいます。そんな時は、「莫妄想！」の言葉を思い起こして下さい。

心配の連鎖に迷い込むのではなく、現実を見つめ「今何をすべきか」を確りと捉えることが、迷路に迷わない一番の方法です。

NET99 相談員 後藤幸夫

※左の写真は、NET99所属の「橋本氏」制作による

「刻書(刻字)」と言われている物です。



NET99へのお申し込み
TEL.011-572-9900 (受付0900~2200)
メール:net99@mbr.nifty.com
※直接相談員へどうぞ
11普連OB 後藤 幸夫

「普友会コーナー」

普通科友の会会員の皆様、毎日お元気でお仕事に、あるいはボランティア活動に又は健康管理のために趣味の会等で交流され、一日一日を有意義にお過ごしのことと推察いたします。

九月六日未明の北海道胆振東部地震で住宅やライフラインに甚大な被害があった、胆振管内の厚真、むかわ、早来、安平町、札幌市清田区、大変な状態が続いておりますが会員の皆様方の被害の有無はどうでしたか。

大規模な土砂崩れに巻き込まれた胆振管内厚真町の三十六人を含めて全道の死者は四十一人、負傷者は六八一人に上りました。建物被害は全壊と半壊で計一五〇棟以上に達し、札幌市では今後増加する見通しです。厚真町などで断水や停電が続き、七市町の避難所には今なお計約一六〇〇人が身を寄せ、避難は長期化しています。残念ながらお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

○北海道胆振東部地震災害派遣の活動状況

(第十一普通科連隊) (普通科友の会 役員会 資料)

(一) 安否不明者捜索

ア、九月六日(木)〜十日(月)の間、厚真町において六個中隊(本管中隊、一、二、三、四、重迫中隊)により実施

イ、生存者発見には至らなかったが、多数の安否不明者をご家族のもとへお返しウ、捜索間は昼夜問わず活動、休憩等についても車中で実施

(二) 千歳市避難所支援

ア、九月六日(木)〜十日(月)の間、市内等において二個中隊(五、六中隊)が活動

イ、千歳市からの依頼により市内の各避難所において、給水支援・給食作成、支援物資輸送を実施

(三) 厚真ダム倒木等除去

ア、九月十日(月)〜十二日(水)の間、厚真ダムにおいて二個中隊(五、六中隊)が実施

イ、厚真ダム水路内に混入した多数の倒木を伐採して除去ウ、前進経路が寸断されているため、CHヘリにより移動して活動

第十一普通科連隊の皆様、北海道胆振東部地震災害派遣、大変な状況の中、昼夜不眠不休での活動大変ご苦勞様でございました。

普通科友の会の誇りです。

平成三十年九月 普友会副会長 堀 次義

〈担当者独り言〉

近年、日本各地で台風に伴う豪雨や北海道初の震度7の地震などの災害が頻繁に起こり、異常気象が日常気象になりつつあります。日本を守る―我々の存在意義はこの一言にあります。連隊長要望事項である「精強無比」の精神で、災害からの復興にも、他に比類なき精強性を発揮して臨み、国民・そして市民から信頼される部隊であり続けたいと願います。

担当者 山川